

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 中山、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第11週（令和6年3月11日～令和6年3月17日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第11週は、腸管出血性大腸菌感染症の報告が5件ありました。腸管出血性大腸菌感染症の一般的な症状は、腹痛、水様性下痢及び血便で、嘔吐や38℃台の高熱を伴うことがあります。小児や高齢者では、けいれん、昏睡、脳症などによって致命症となることがあります。気になる症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。腸管出血性大腸菌は食肉等に付着し、生肉や加熱不十分な肉を食べることで感染しますので、調理する際は中心部まで十分に加熱（75℃で1分以上）しましょう。また、患者の便等で汚染された手を介して人から人へも感染するので、調理時、食事前、トイレやおむつの取り替えの後は、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	16	155	227	2,478
腸管出血性大腸菌感染症	5	15	21	218
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	17	36	474
後天性免疫不全症候群	2	15	9	180
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	9	127
侵襲性肺炎球菌感染症	5	28	21	526
水痘（入院例）	1	6	12	81
梅毒	10	150	191	2,299
百日咳	1	11	10	106

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	994	5.02	0.92	32,236	6.53
インフルエンザ（警報レベル）	2,258	11.40	0.75	79,643	16.14
RSウイルス感染症	48	0.40	1.26	1,171	0.37
咽頭結膜熱	60	0.50	0.63	2,747	0.88
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（警報レベル）	914	7.62	0.96	13,808	4.41
感染性胃腸炎	630	5.25	1.03	17,577	5.61
水痘	17	0.14	0.81	428	0.14
手足口病	39	0.33	1.39	545	0.17
伝染性紅斑	3	0.03	0.60	68	0.02
突発性発しん	44	0.37	1.16	634	0.20
ヘルパンギーナ	1	0.01	0.50	80	0.03
流行性耳下腺炎	2	0.02	-	78	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	12	0.02
流行性角結膜炎	8	0.31	1.33	297	0.43
細菌性髄膜炎	1	0.07	0.50	9	0.02
無菌性髄膜炎	1	0.07	-	11	0.02
マイコプラズマ肺炎	2	0.13	2.00	56	0.12
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	-	6	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。